

# 有明山將軍塚の紹介

小井土 冨

# 黒色泥岩



## もりしょうぐんづかこふん べっしょそう こくしょくでいがん 森將軍塚古墳と別所層の黒色泥岩

森將軍塚古墳のある有明山は、「別所層」と呼ばれる今から1700万～500万年前の新生代第三紀中新世に堆積した黒色泥岩によって形作られています。

当時の信州は、本州東部と西部の間に存在した海の底で、泥が1.300mも堆積して、現在の地形になりました(フォッサ・マグナ【大地溝帯】と呼ばれます。)

別所層の露頭(崖)は、由来となった別所温泉の他に、松本市北部(田沢・四賀)・上田市小泉・坂城町小網・更埴(戸倉・屋代)・長野市まつ代等で見られ、泥岩からはシナノイルカや二枚貝、有孔虫等の化石が産出されます。古墳に向かう登山道の風化して崩れた泥岩からは、ニシン等の魚類の鱗の化石が時々見付かります。



↑ 泥岩中の魚類の鱗化石(実物大)

フォッサマグナの海峡 →



# 森将軍塚古墳1

この場所から見た風景は絶景で  
他にもいろいろな埴輪もあるので  
どのような感じで作られたかがわ  
かるのでぜひ皆さんも見に来て  
みてください。



## まとめ

昔のものをそのまま見られるのは素晴らしいと思いませんか？人によって思う歓声はそれぞれですが少なくとも僕は素晴らしいことだと思います。昔の物をそのままの見られるのは素晴らしくありませんか、それのおかげで知識をひろめられるのは素晴らしと僕は思います。

## 終わり